

北陸圏域道路啓開計画策定協議会 設立趣意

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、石川県能登地域を中心に震度7を観測し、地域的に大きな隆起や山崩れの発生等に伴い道路網が寸断され、孤立集落が発生する等、緊急救命活動や復旧活動に大きな影響を与えた。

また、本震災ではこれまで道路上のがれき等の除去により道路交通を確保してきた状況と大きく異なり、山崩れ等により道路自体の消失や道路上への大量の土砂堆積、道路上部での不安定地山の処理等のため交通の確保に時間を要する事案が多数発生した。

今回、この大規模災害を踏まえ、救援・救護、救出活動に必要な緊急輸送道路の早期確保のため、北陸各県協働のもと可能な限り早期に広域道路啓開を実施するため、本協議会において、関係機関の連携・協力により、啓開計画の策定を行い強力かつ着実に推進していくことを目的に設置するものである。